

2026 年●月●日

株式会社ロックガレージ

3rd-EYE、国産ドローンと AI・スマートグラスのリアルタイム連携に対応

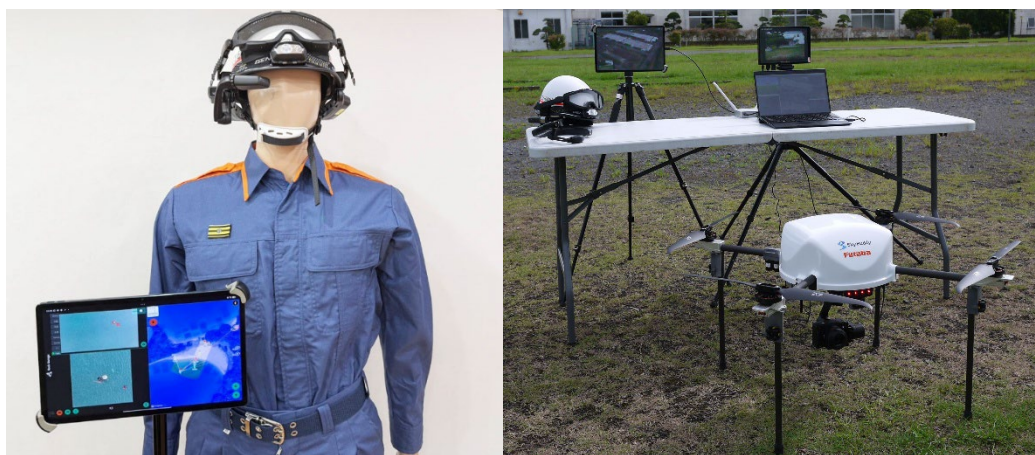
Futaba 製ドローンの映像・位置情報を AI 解析し、スマートグラスと指揮本部に即時共有

株式会社ロックガレージ（本社：茨城県古河市、代表取締役：岩倉大輔）は、現場指揮支援システム『3rd-EYE』について、国産ドローンとのリアルタイム連携に対応しました。

3rd-EYE は、ドローン・AI・スマートグラスを統合し、現場の映像・位置情報・AI による解析結果を指揮所や指揮本部等の遠隔地とリアルタイム共有することで現場指揮の効率化が可能な情報共有プラットフォームです。

3rd-EYE は現場のニーズを受けて国産ドローン対応を進めており、その第一弾として双葉電子工業株式会社製ドローン（以下 Futaba 製ドローン）への対応を完了し、ドローン映像とテレメトリ情報を 3rd-EYE へ統合、AI 解析結果がタブレットおよびスマートグラス上で即時共有できるようになりました。

これにより、国産ドローンを組み込んだ現場指揮支援システムの提供が可能となりました。

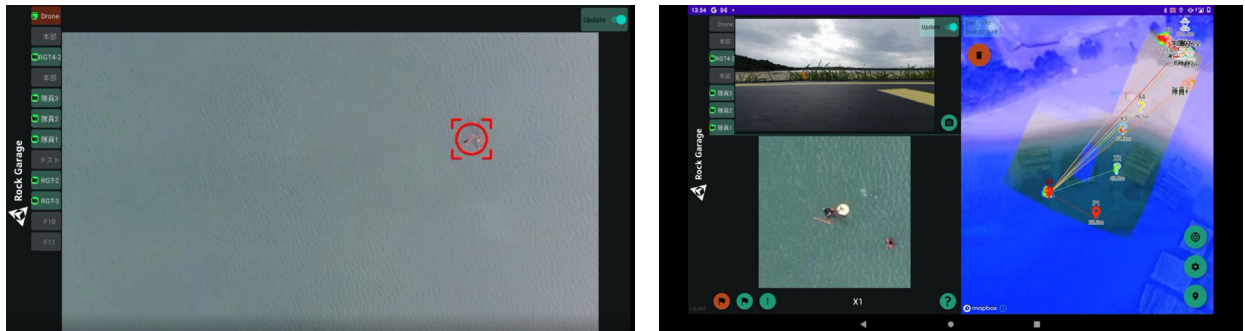


【図 1】 3rd-EYE システム機材（左）及び Futaba 製ドローン付加構成（右）

- ・ 国産ドローンと 3rd-EYE のリアルタイム連携に対応
- ・ Futaba 製ドローンで接続・飛行・映像共有を確認
- ・ 既存保有機体を活用した後付け導入にも対応可能

1. 3rd-EYE とは

「3rd-EYE（サードアイ）」は、ドローン、AI、スマートグラスを組み合わせた新世代の情報共有システムです。ドローンのライブ映像をAIが自動解析し、検索対象（人）の位置を特定、指揮本部に設置されたタブレットや隊員が装備するスマートグラスにその位置情報・映像情報を表示します。また、現場で活動する隊員の視野も映像として指揮所や指揮本部、隊員同士で共有することが可能です。このシステムを利用することで、指揮所・指揮本部は映像を確認しながら隊員に指示したり、デジタル地図を用いて目的地を指示したり、ドローンによって発見された要救助者の状況をリアルタイムに確認することができるようになります。これによって、より直接的に現場の状況把握が可能となり、現場指揮がはるかに正確かつ効率的になります。



【図2】AIが発見した人影（左）／指揮所・指揮本部タブレット画面（右）

2. なぜ今「国産ドローン連携」が重要なのか

3rd-EYE はこれまで、主に DJI 製ドローンとの連携機能を提供してきました。近年、自治体や公共機関では、災害対応やインフラ点検におけるドローン活用が拡大する中、調達方針やセキュリティ要件を踏まえた国産ドローンへの関心が高まっています。そこで当社は、既存機体を活用しながら AI 解析・映像共有・指揮支援を統合できる現場 DX プラットフォームとして、国産ドローンへの対応を進めてきました。

3. 今回のアップデートについて

(1) Futaba 製ドローンへの対応

国産ドローン対応の第一弾として、Futaba 製ドローンとの連携に対応しました。これにより、Futaba 製ドローンの映像・テレメトリ情報を 3rd-EYE へリアルタイム連携し、AI 解析結果を指揮本部タブレットおよびスマートグラスで共有できるようになりました。



【図 2】 Futaba 製ドローンと 3rd-EYE の接続検証の様子

(2) 既存機体を活用した導入

3rd-EYE は既存のドローン機体を改修することなく、3rd-EYE を追加導入できる構成を採用しています。機体を買替えずに AI・情報共有機能を追加できる可能性がある点は、自治体や消防における導入負担の軽減につながります。

既に保有している国産ドローンについての運用可否については、個別に検証・提案を行っています。



【図 3】 Futaba 製ドローン映像を AI 解析中の 3rd-EYE 画面

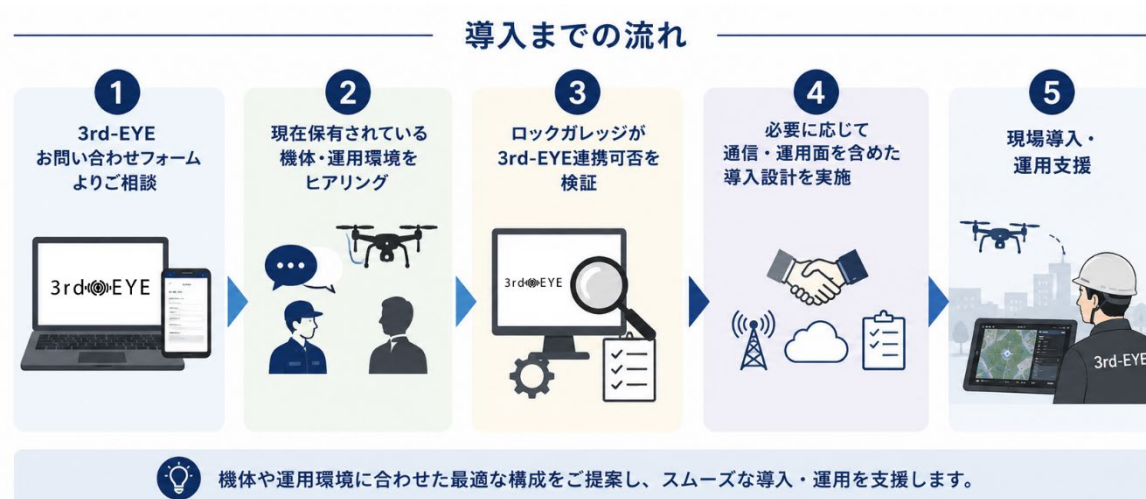
4. 今回のアップデートの意義

近年、日本では国産ドローン活用への関心が高まっています。しかし、ドローンと連携する情報共有システムの多くは特定機体への依存が高いことが課題となっていました。今回の機能拡充は、「国産ドローンの活用」と「現場 DX システムの統合」を両立できる可能性を示したものであり、消防・自治体・インフラ点検など複数分野への波及が期待されます。

5. 想定利用分野

分野	想定用途
消防	要救助者捜索、現場指揮
自治体	災害対策、避難状況確認
インフラ	橋梁・河川・設備点検
警備	広域監視、巡回

6. 導入までの流れ



7. 今後の展開

今後は Futaba 製ドローンでの実績を踏まえ、他の国産ドローンへの対応拡大を進めてまいります。また、消防・自治体・インフラ点検など各分野において、既存機体を活用した 3rd-EYE 導入の検証を進め、現場ごとに最適な構成を提案してまいります。

当社は、特定のドローンに依存しない情報共有プラットフォームとして 3rd-EYE を発展させ、日本のドローン活用現場における運用 DX の実現を目指してまいります。



現在保有されているドローンで 3rd-EYE を利用できるかについては、機種・通信構成・運用環境を踏まえた個別検証を受け付けていますので、下記窓口へご相談ください。

本件に関するお問合せ：090-1229-8306（大畑）

【会社概要】



会社名：株式会社ロックガレージ

事業内容：ドローン関連ソフトウェア／制御系／ハードウェア開発、ロボット開発支援、スマートグラス・ドローン・AI 複合による情報共有システム（3rd-EYE）の開発・サービス提供

住所： 茨城県古河市宮前町 1-51

URL： <https://rockgarage.tech>

連絡先： office@rockgarage.tech